

第4学年国語科学習指導案

日時 令和3年10月15日(金) 5校時

授業者 1組 藤澤 稚代 2組 小田中 公穂

学習者 4年1組 31名 4年2組 29名

- 1 単元名 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう
教材名 「世界にはこる和紙」 じょうほう「百科事典での調べ方」
「伝統工芸のよさを伝えよう」(光村図書 4年下)

2 単元について

(1) 児童について

これまで児童は、4年生で、「思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」の学習を行ってきた。これらの学習では、筆者の考えとその事例の関係について考えることを通して、文章構成や段落どうしの関係を確認し、筆者の考えを捉えることについて学習してきた。

児童は、前単元の学習で筆者の考えを補強するために事例を挙げることや対比することの良さを学んだ。

国語の学習において、ほとんどの児童は真剣に取り組んでおり、自分の考えを互いに交流することが、学習に深まりが出て感じている。自分の言葉で相手に伝えようという姿が見られる。アンケートからは「伝え合いをすることで分からないことが分かったり、ほかの考えを知ったりすることができる」点に良さを感じている児童が多かった。

伝え合う活動は、ペア、グループ、全体と、場面によっていろいろな形で取り組んできているが、自分の考えを話すことが苦手な児童も見られるので、叙述や事例の関係を明確にすることで考えを深め、書く活動でも生かすことができるようにしていきたい。

(2) 教材について

第4学年「B書くこと」の指導事項は、「ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること」、「C読むこと」の指導事項は、「ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」である。

本単元は、「世界にはこる和紙」では、説明文を読み、筆者の考えやそれを支える理由の関係を捉え、中心となる語や文を見つけて要約する学習をする。「伝統工芸のよさを伝えよう」では、百科事典や資料を使いながら理由や事例とともにリーフレットにまとめる活動を行う。

(3) 指導にあたって

本単元では、要約する学習を生かして、伝統工芸について調べ、リーフレットを作るために留意したい点は次の通りである。

中心となる語や文を見つけるために、説明文の文章構成を手がかりとすることや読み取りの際に考えを繰り返し説明している部分に注目することなどの、今まで学習してきたことを確認しながら学習を進めていく。

また、文章構成を捉えたり、中心となる語や文を見つかったりする際は伝え合いの活動を取り入れて、自分と友達の考えの同じ見方だけでなく違う見方についても気付かせていきたい。

本時では、事例は筆者の理由を補うだけでなく、事例からさらに分かることにも気付くことでより考えを深めるきっかけとしたい。

リーフレットの作成では、第一教材で学習したことを生かして、伝統工芸の魅力を伝えるために、例や理由と伝えたいこととの関係のつながりを考えながら、友達と確認し合って学習を

進めていく。

3 単元の指導計画

(1) 目標

- 事典の使い方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2) イ
- 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 [思考力・判断力・表現力等] B (1) ウ
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 [思考力・判断力・表現力等] C (1) ウ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 「学びに向かう力、人間性等」

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 百科事典の使い方を理解し使っている。(2) イ	① 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。C (1) ウ ② 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 B (1) ウ	進んで、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫し、調べて分かったことを整理してリーフレットを書こうとしている。

(3) 指導と評価の計画 (全16時間)

時	目標	主な学習活動	伝え合う活動 (形態)	評価規準・評価方法
1 ・ 2	○伝統工芸について関心をもち、学習の見通しをもって、学習計画を立てることができる。 ○「世界に誇る和紙」を読んでおおまかな内容を捉え、「初め」「中」「終わり」に分けることができる。	・題名やリード文から伝統工芸や和紙に対するイメージを広げ、関心をもち、 ・単元の学習のめあてを確認し、学習計画を立てる。 ・「世界にほこる和紙」を読み、おおまかな内容と文章全体の構成を捉える。	・「伝統工芸」について知っていることについて話し合う。(ペア→グループ) ・和紙について知っていることを交流して、感想をもつ。(ペア→グループ)	

<p>3 ・ 4 (本時) ・ 5</p>	<p>○「中」を2つのまとまりに分け、筆者が述べている2つの理由を読み取ることができる。</p> <p>○「中」でどのような事例が何を説明するために述べられているのかを読み取ることができる。</p> <p>○「初め」「中」「終わり」のまとまりごとに中心となる語や文を捉え、文章を要約することができる。</p>	<p>・「中」に述べられている、筆者の考えの理由となる2つのことを読み取る。</p> <p>・「中」で挙げられている例を確認し、どんなことを伝えるために挙げられているのかを整理する。</p> <p>・まとまりごとに中心となる語や文を捉え、「世界にほこる和紙」を要約する。</p>	<p>・中を大きく二つに分けたわけを話し合う。(ペア→グループ)</p> <p>・事例と筆者の考えの関係について話し合う。(ペア→グループ)</p> <p>・書いた要約文を交流する。(ペア→グループ)</p>	<p>【思考・判断・表現①】 記述 中心となる語や文を見つけて要約しているか確認する。</p>
<p>6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10</p>	<p>○リーフレットを作ることに関心を持ち、取り上げる題材を選ぶことができる。</p> <p>○リーフレットを作るために調べたい伝統工芸を選ぶことができる。</p> <p>○伝統工芸について調べ、必要な情報を整理することができる。</p> <p>○伝統工芸に関する本について、良さが書かれているところを中心に要約することができる。</p>	<p>・リーフレットの例を参考にして、これまで読んだ本や学習したことから紹介したい伝統工芸を決める。</p> <p>・紹介したい伝統工芸を決めて、本や百科事典で調べ、情報をカードに整理する。</p> <p>・伝統工芸に関する本について、良さを中心に要約する。</p> <p>・百科事典での調べ方」を読み、百科事典の使い方を知る。</p>	<p>・要約文をグループで読み合い、感想を伝え合う。(グループ)</p>	<p>【知識・技能①】 観察・カードの記述 見出し語や索引から自分の調べたいことを百科事典や図書を使って調べているか確認する。 【思考・判断・表現①】 記述 伝統工芸のよさに着目して、中心となる語や文を見つけて要約しているか確認する。</p>
<p>11 ・ 12</p>	<p>○リーフレットに載せる文章の組み立てや資料を考えることができる。</p>	<p>・リーフレットに載せる文章の組み立てや資料を考えることができる。</p>	<p>・自分で考えたリーフレットの組み立てを話し合って気付いたことを伝える。(ペア)</p>	<p>【思考・判断・表現①】 記述 整理した情報を基に、リーフレットに載せる文章の組み立てを考えているか確認する。</p>

13 ・ 14 ・ 15	○必要な情報や文章構成を考えながらリーフレットの文章の下書きをすることができる。 ○レイアウトを工夫し、リーフレットを完成させることができる。	・必要な情報や文章構成を考えて、リーフレットに載せる文章の下書きをすることができる。 ・組み立てを考え、下書きをする。 ・レイアウトを工夫し、リーフレットをつくる。	・表紙や裏表紙について図書を参考にしてレイアウトについて話し合う。(ペア)	【思考・判断・表現②】 <u>記述</u> 調べたことを基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、工夫しながら下書きをしているか確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 <u>記述・観察</u> 調べて分かったことを、整理して書こうとしているか確認する。
16	○友達とリーフレットを読み合い、感想を交流することができる。	・完成したリーフレットを読み合い、分かりやすく書けているところを伝え合う。		

4 本時の指導 (4 / 16 時)

(1) 本時の目標

「中」でどのような事例が何を説明するために述べられているのかを読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準 (学習者の姿)

概ね満足できる姿	事例と筆者の考えを関係づけて、まとめている。
努力を要する学習者への支援	事例とそれを説明している記述を対応させて、まとめるように助言する。

(3) 本時の展開

段階	学習活動 (○主発問 ・ 予想される学習者の反応)	指導上の留意点 評価方法
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。 2 課題を確認する。 ④筆者は和紙のよさをどのような事例で説明をしているのだろう。 3 課題解決の見通しをもつ。	・「中」に書かれている、筆者の考えの理由を読み取ったことを確かめる。 ・中には筆者の考えが2つ書かれていたことを確認する。

<p>展 開 35 分</p>	<p>4 はじめの3枚の写真は、和紙のどのようなよさを表しているのでしょうか。 ○写真が説明している部分に線を引きましょう。</p> <p>○この3枚の写真で伝えたい和紙のよさは何だろう。 ・和紙のよさについて説明するため。 ・洋紙と比べた和紙の特徴を分かりやすく説明するため。</p> <p>5 後半の3枚の写真と関係がある記述はどこか見つける。 ○写真が説明している部分に線を引きましょう。</p> <p>○この3枚の写真を使って筆者は何を説明したいのだろうか。 ・短歌を書くときは美しく飾られたきれいな和紙が使われていたことを説明するため。 ・わたしたち相手との出会いを大切にしている気持ちを表すのに和紙を使うことを説明するため。 ・写真からきれいな和紙を使っていることでもらう相手もうれしくなる。</p> <p>6 なぜ事例を挙げているのかを考える。</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦ 事例①から③で、長もちする和紙のよさを、事例④～⑤で自分の気持ちを表すことのできる和紙のよさを説明している。筆者は、作り方やとくちょう、使う人の気持ちを入れることで、自分の考えを伝えている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と対応する説明部分に短く線を引かせ、何の説明のために事例を挙げているのかを考える。 ・ペアで考えを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真と対応する説明部分に短く線を引かせ、何の説明のために事例を挙げているのかを考える。 ・ペアで考えを交流する。 ・(文章にはないが)写真から分かる情報にも目を向けさせる。 <p>〈伝え合い〉 (ペア→全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例(写真)がある場合とない場合の伝わり方はどうか、違いについても考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現②】</p> <p>発言・記述</p> <p>筆者が事例を挙げた理由について叙述を基にまとめているか確認する。</p> </div>
<p>終 末 5 分</p>	<p>8 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合った内容や分かったことを中心に振り返る。

(4) 板書計画

<p>⑤ 世界にはこる和紙 増田 勝彦</p> <p>筆者は和紙のよさをどのような事例で説明をしているのだろうか。</p>	<p>① 和紙と表面の写真</p>	<p>② 702年の文書の写真</p>	<p>③ 和紙をはる写真</p>	<p>④ 平安時代の短歌の本</p>	<p>⑤ 和紙を使った製品</p>	<p>⑥ ③事例①から⑤で、長もちする和紙のよさを、事例④⑤で自分の気持ちを表すことのできる和紙のよさを説明している。</p>
	<p>・やぶれにくい</p>	<p>・当時と同じように文字を読むことができる</p>	<p>・古くからある絵画や手紙の修復に和紙が使われている。</p>	<p>・美しくかざられたきれいな和紙</p>	<p>・よりよろこんでもらいたいという思い</p> <p>・ぬくもりのある美しい和紙</p>	<p>長もちする</p>
					<p>気持ちを表す</p>	